

第172回:無料で豚骨スープが飲める国

奇跡の高度成長のおかげで、貧しかった中国は、いまはむかしの物語。中国は恵み豊かで偉大な国に変貌を遂げた。中国がどれほど豊かになったか。いま北京では、窓を開けるとタバコが無料で吸える。上海では、蛇口をひねると無料で豚骨スープが飲める。

最近中国ではネットや携帯メールを通じ、こんなジョークが流行っているような。北京のタバコが未曾有の大気汚染を指し、上海の豚骨スープが、市内を流れる黄浦江で一万頭を超える豚が不法投棄された事件を指すのは云うまでもない。その上海豚死事件が未だ解決されていない矢先、今度は3月に四川省眉山市の河川に千匹を超えるアヒルの死骸が投棄されているのが発見され、現地当局は「川の水質は汚染されていないから心配無用」と発表したものの、地元住民は大本営発表を信用せず、「検査結果は上海のブタの時と同じで、政府が発表するわが国の水質は“永遠に清潔”だ」と揶揄している。上海人は豚骨スープを飲み、四川人はダックスープを飲まされた、さて次はどの地域の住民がどんなスープを飲まされるのやら。

いまを遡ること約30年まえ、筆者が初めて中国留学に放り出されたとき、最初のカルチャーショックは、中国民航(いまのエアチャイナ H00753)の機内食で出された米飯が臭くて食べないことだった。正直云って、子供のころ赤貧の経験こそないものの、それなりに質素な生活が長く続いた体験から、少々の食べ物には動じないつもりでいたが、異臭漂う黒っぽい米がどうしても飲みこめず、世の中に喉を通らないお米が存在することを知って情けない思いをしたものだった。その日の夜7時過ぎ、民航機は無事上海空港に降り立ち、われわれ日本人留学生は華東師範大学の手配してくれたトラックに押し込まれ、なんとか宿舎に到着することができた。はじめての中国体験で草臥れ果てたため、早めに寝ようと考え、成田の免税店で買い求めたウイスキーを、宿舎の売店で買った青島製の「労山水」というミネラルウォーターで割って、一杯引っかけたところ、口の中のウイスキーを思わずブツと噴き出してしまった。まさか水のなかに大量の塩分が含まれているとは想像もしなかったもので。シャレではないが、生まれて初めて買ったオールドパーのダブルをパーにしてしまった。(「労山水」には青ラベルと赤ラベルの2種類あり、赤ラベルの方が塩分も炭酸も入っていないまともなミネラルなのだが、それを知ったのは2週間もあとのことだった)。

翌日の昼、大学の食堂で軽くビールでも飲もうかと思ひ、コックさんに啤酒(ピージュー)と叫んだら、値段は邦貨で20円くらいだったと思うが、地元の「東海啤酒」がやってきた。ビールがぬるいのは諦めるしかないと思ひ、気を取り直して栓を抜くと、馬のシオンベンのような泡の少ないビールがじょぼじょぼと出てきた。一目見て何となく不穏な空気を感じたのだが、一口飲んで腰を抜かしそうになった。良く云えば、揚子江の香り、ありていに云えば、こどものころフナやドジョウを求めてさらった故郷の沼というか、どぶの匂いがするではないか。自慢ぢやないが、沼地の腐臭漂うビールを飲んだことのある日本人はそう多くはないはずだ。こりゃ堪らんと売店に走り、いちばん高い「上海啤酒」を買って飲んでみると、幸いなことに、当時上海で最も高級であったこの上海ビールは単なる不味いビールで済んだ。もちろん飲むのは一本で切り上げた。

当日の晩は、和平飯店と並び上海最高級のホテルであった錦江飯店に乗り込み、ここで初めて「青島ビ

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

ール H00618」にめぐり会い、これこそビールだと得心がいった。あとで知ったが中国語で「東海」とは、日本のことを指すようで、ずいぶん失敬なネーミングだと思ったが、この沼地ビールはその後淘汰されてしまったらしく、いまはあとかたもない。これが筆者の中国におけるカルチャーショックであるが、ショックが食べ物と飲みモノに集中しているのが、少し恥ずかしいような、いぢましいような気がしないでもない……。

はなしを21世紀に戻そう。中国の水と空気が悪いのは、いまも30年前も変わらないようだ。聞くところによると、中国の上水の基準はいまでも極めて緩く、日本の下水の水質基準よりも更にユルいという。現地の中国人もその辺の事情をよく心得ており、むかしは水道の水を煮沸し「開水(カイシュイ)」と称して飲んだものだが、最近都市部では、ミネラルウォーターを買って飲む人が増えているようだ。最近中国のスーパーやコンビニで中国版ミネラルウォーターをよく見かけるようになったが、飲料用水の製造や濾過のレベルはまだまだ低いらしく、黒い不純物が漂っているのはまだマンな部類で、昆虫の卵が発見されることもしばしばあるという。地元のミネラルウォーターが信用できなければ、最後の頼みの綱は、値段は高いが、ペリエやエビアンのような輸入ミネラルに頼るしかない。ところが、中国ではいま偽ペリエや偽エビアンが大流行しているという。奥が深いというか、ほとんどジョークに近い現実のはなしである。

筆者の家では、スーパーマーケットで食品を買うとき、必ず原産地をチェックし、中国産の表示があるものは決して買わないようにしている。しかしながら、夜になって友人知人と一盞傾けるとき、料亭や割烹に繰り出すのは盆と正月くらいであり、筆者の行きつけの店の大半は街の安くて美味しい居酒屋である。こないだ日刊ゲンダイが居酒屋で注意すべき中国産品云々といった特集を組んでいるのを興味深く読んだが、枝豆、冷や奴、焼き鳥、魚の干物……みんなチャイナリスクに引っ掛かる可能性があることを知り、暗澹とした気分になった。いつだったか、上海駐在のとき海外部店長会議に参加し、夜の懇親会で、ロンドン勤務の支店長や現法社長、ロンドン勤務OBの常務役員さんたちが「狂牛病」の話題を持ち出し、「あのころロンドンでは、毎日ステーキやローストビーフを食ったものだが、いまになって狂牛病のニュースが気になって仕方ない。でも、今更心配しても手遅れだけどね」とヤケになって管を巻いているのを、上海駐在員として密かに笑いながら拝聴したものだが、それから20年、あのとき狂牛病を笑ったつけを、いまになって中国食品で払わせられることになるとは。チャイナフリーは現実的に不可能なのだろうか……嗚呼。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成25年6月13日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本^の常識は中国^の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075%（税込み）（約定代金が260,869円以下の場合、3,150円（税込み））の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額（現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対して最大0.8400%（税込み）の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込（一部の投資信託は換金）手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840%（税込み）の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20%（税込み）（約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円（税込み））の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。